

## 令和3年度 学校経営方針

### 1 向陽学府小中一貫教育とのかかわり

9年間を見通して系統性・連続性をより強化したカリキュラム編成及び実施に向けて、目指す児童生徒像を小中一本化し、学府教育目標として位置づけ、教育効果を一層高める。

**学府教育目標 「瞳を輝かせ、居がい・生きがいを感じる児童生徒」(第3期コスモプラン)**

### 2 校訓 「至誠」

「至誠」とは、誠実な心、まごころである。開校以来、この校訓に込められた願いを、学校経営・教育活動の柱としてきた。教職員自らが至誠をもって生徒や保護者、地域住民と接し、真摯に教育にあたることで、至誠あふれる生徒を育てていきたい。

### 3 学校経営の重点 「瞳輝き 心輝く向陽」の実現

「瞳輝き」とは、学びを自分自身のものとし、生き生きと主体的に取り組む生徒の姿である。また、「心輝く」とは、一人一人の生徒が、多様な人と協働し、感性を豊かに働かせながらよりよい人生や社会を切り拓こうとする姿である。

#### 【学府教育目標に迫る3つの柱】

#### (1) やさしさ

- ・ふるさと（地域）や自他を大切にし、多様な人や考え方の良さに気づいて豊かな人間関係を築こうとする力の育成

#### (2) 強さ

- ・ねばり強くやり遂げようとする力、困難や変化に自ら適応できる力の育成
- ・やさしさをすすんで発揮しようとする力の育成

#### (3) こころざし

- ・夢や希望を育み、自分らしさを発揮してよりよい生き方や社会を切り拓こうとする力の育成

### 4 具体的方策 [学校評価数値目標]

#### (1) 自他を大切にし、豊かな人間関係を築こうとする生徒の育成

[進んであいさつをしている 90%・私たちの学級はルールを守り、協力する雰囲気がある 90%・規則正しい生活を送っている 90%]

- ア 時間やルールを守る、あいさつができる等の基本的な生活習慣の確立、体力向上への啓発
- イ 受容と共感、人間尊重の精神を基盤とし、生徒に寄り添い、積極的に機動的な生徒指導
- ウ 生徒相互、生徒と教師のつながりを大切にした学年・学級づくり
- エ 規範意識（情報モラル含む）や社会性を育てる指導や多面的、総合的な生徒理解
- オ SCやSSW、関係機関との速やかな連携及び課題を抱える生徒への積極的な働き掛け
- カ 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの考えに基づいた特別支援教育

#### (2) ねばり強くやり遂げたり、困難や変化に自ら適応したりする生徒の育成

[積極的に自分の考えを伝えている 75%・進んで先生に聞いたり自分で調べたりして学習する 75%]

- ア 学び手の視点を大切にし、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を意識した授業改善
- イ 個別最適化を目指した学びや創造性を育むICT機器(大型テレビ、電子黒板、タブレット等)の活用研究
- ウ ローテーション道德の実施及び「考える道德」の継続
- エ こころざしを育む「コスモス学習（総合的学習の時間）」の充実
- オ 朝読書や読み聞かせによる読書活動推進と家庭学習の見届けや学習相談等による生徒個々に応じた学習支援

### (3) より良い生き方や社会を切り拓こうとするところざしをもった生徒の育成

[行事や課外活動に積極的に参加している 90%・学級の係や委員会活動の役割を理解している 95%・地域の活動に積極的に参加する 80%]

- ア 行事や諸活動をとおして所属感や自尊感情を高める特別活動の充実
- イ 生徒の主体性、創造性を大切にした生徒会活動と学校行事（体育大会、文化発表会等）の実現
- ウ 積極的に地域を知り、社会に参画しようとする態度を養う各種ボランティア、地域行事への参加・協力の奨励
- エ 責任感や連帯感、健全な心身、たくましさを涵養する部活動の推進
  - ・生活リズム調整期間、部活動強化期間の設定
  - ・部活動ガイドラインの遵守と部活動全体計画の策定
  - ・外部人材の積極的な活用
- オ 生徒自らが主体的に生き方を考えるキャリア教育の推進
  - ・各教科・総合的な学習の時間等教育活動全体を通じた組織的、計画的進路指導の充実

### (4) 人間性や指導力向上を目指す頼もしい教職員集団の形成

[コンピュータ等を使って調べたり、わかりやすく相手に伝えたりすることができる 90%・先生は子供のことを理解して指導にあたって  
いる 85%・教育公務員としての資質向上に努めている(教師)100%]

- ア マネジメント機能の強化を図り、教職員一人一人が力を発揮できる組織づくり
- イ 積極的に学び続け、豊かな人間性と思いやり、指導力向上を目指す教職員集団の形成
  - ・ネットワーク型オン・ザ・ジョブ・トレーニングによる若手育成
- ウ 教職員間のコミュニケーションの活性化と、風通しのよい明るい職場環境づくり
- エ 兼務連携による学校事務の効率化・適正化及び学校諸会計の効果的で透明な執行
- オ コンプライアンス委員会を核とした不祥事根絶の取組
  - ・3ゼロ(おいせつ行為、体罰、交通事犯の根絶) + 2(情報の厳重管理、適正な会計処理)
- カ 教育活動の目標やビジョンの発信と保護者や地域の思いの受信による理念の共有
  - ・学校運営協議会、PTA総会、参観会、学校だより、HP、学校評価等
- キ 地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」
  - ・地域交流活動の実施
  - ・コミュニティ・スクール、向陽学府小中一貫教育の推進
  - ・地域との相互理解を図る学府運営協議会、学校運営協議会の計画的実施
  - ・コミュニティ・スクール・ディレクター、PTA、向陽地域クラブとの連携・協働による保護者・地域との協働体制の構築
- ク チーム学校の推進と持続可能な業務改善による働き方改革の実現
  - ・学校評価と連動した学校の校務運営体制の見直しやSC・SSS・教育支援員スタッフの連携・協働による効率的な業務遂行、外部人材、地域人材の積極的な活用

### (5) 保護者・地域とのあたたかなつながり、地域とともにある学校づくりの推進

[地域との交流が盛んな学校である(運営協議委員) 85%・地域の活動に積極的に参加しようとしている 75%・学校の様子等の情報公開が進んでいる(保護者) 90%]

- ア 交通ルールや自転車マナーの徹底、「命」の大切さを意識づける交通安全教育の推進
- イ 危機管理体制や防災体制の確立と防災・減災教育の推進
  - ・磐田ホッとラインの活用によるタイムリーな情報発信
- ウ 学校保健委員会や「健康・安全の日」を通じた保健指導の充実
- エ 磐田市アレルギー対応の手引きに準拠した食物アレルギー、喘息への対応と、「食と健康」に関わる食育指導の取組
- オ いじめ防止対策基本方針に基づいた未然防止、早期発見、早期対応
- カ 安全点検の確実な実施と、計画的な修繕、環境整備の充実